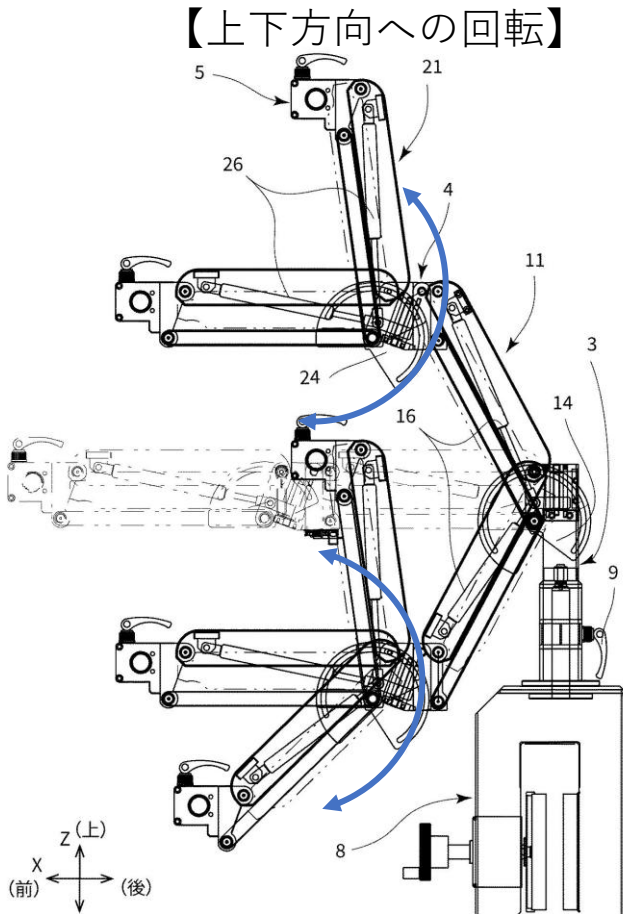
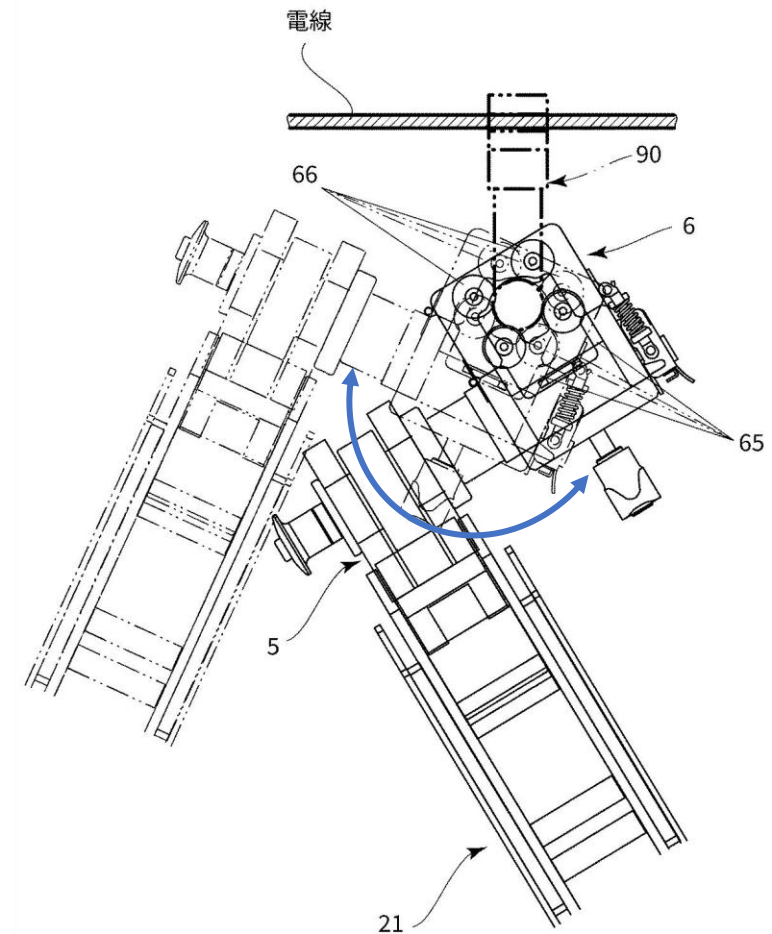


## ◆活用のポイント



- 3か所の接合部を始点として第1アーム、第2アーム、工具取付部が上下方向に回転稼働する。  
→操作性が向上するとともに小回りがきき、かつ、作業範囲を広げることができる。

## 【電線を把持した状態での回転】



- 装置の小回りが利くため、工具で電線を把持した後に装置を回転させても、把持の状態を維持できる。  
再度、つかみ直す必要がないため作業効率を向上させることができる。